

TRIANGLE

2020 | vol.78

TAKE FREE

（自由にお持ちください）



ふむふむメディカル・看護のスペシャリストたち

Contents ちばにし医心伝心／らくらくエクササイズ／伝染性感染症病棟（C.I.W）について

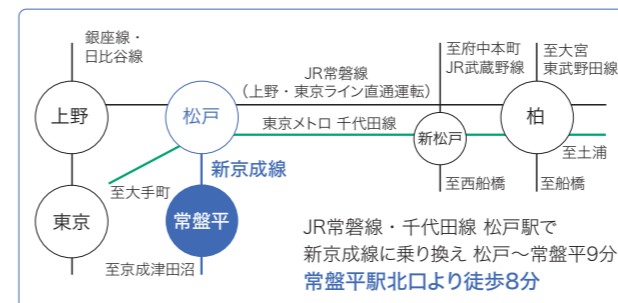
広報誌

TRIANGLE

発行日：2020年10月
発行：千葉西総合病院

〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作107-1
TEL.047-384-8111
<http://www.chibanishi-hp.or.jp>

Access



- 無料バス運行中
- 1 千葉西 ⇄ 常盤平駅北口 往復バス
 - 2 千葉西 ⇄ 常盤平駅北口 ⇄ 小金原 循環バス
 - 3 千葉西 ⇄ 光ヶ丘団地 ⇄ 新柏駅 ⇄ 増尾駅 ⇄ 柏南部 循環バス
 - 4 千葉西 ⇄ 新八柱駅 ⇄ 牧の原団地 ⇄ 常盤平 循環バス



千葉西総合病院の基本理念

“生命だけは平等だ”を基本理念に、
誰もが最善の医療を受けられる社会をめざして

(生命を安心して預けられる病院、健康と生活を守る病院)

[基本方針]

- 1 年中無休・24時間オープンで救急を絶対断らない。
- 2 地域医療機関との連携を確立し、高度な医療を担います。
- 3 病める人の生命を尊厳し、倫理観をもって良質の医療を提供します。
- 4 安心と安全の医療、行って良かったと感動を与える病院をめざします。
- 5 チーム医療の推進で、患者様を癒しの場、家庭へ早く復帰できるよう支援します。



看護のスペシャリストたち

卓越した専門知識と看護技術で患者様に寄り添う



千葉西総合病院には、専門分野に特化した高い知識・技術を有する「認定看護師」をはじめ、高度化・専門化する医療の現場を支える看護のスペシャリストたちが数多く在籍。患者様第一のより良い看護を目指し、チーム医療の中核を担う存在として現場を牽引しています。

専門性を生かして より質の高い看護を提供

医師の診療のサポートや患者様のケアを行う看護師の中でも、より卓越した技術や専門知識を有するスペシャリストがいることをご存知でしょうか。

看護の現場でのキャリアに加え、定められた機関での教育・研修課程を経て確かな知識と技術を修めた者で、特定の看護分野における高度な技術と知識を有する「認定看護師」や、医師の指示にしたが

い一定の診療補助(特定行為)が行える「特定看護師」などがいます。医療の高度化・専門化が進む中で、より適切かつ質の高いケアを患者様に提供するとともに、医師からも頼られる存在として現場を牽引するスペシャリストたち。当院にもこれらの資格を有し、高い志を持ってそれぞれの専門分野で活躍する看護師が数多く在籍しています。

「認定看護師」とは？

認定看護師は急性期のケアや皮膚や排泄のケアなど、看護の中でも特に高い技術や専門知識を必要とする分野で活躍する看護師のことです。専門分野において質の高い看護を提供することはもちろん、周りの看護師への指導役、また相談相手となることで、看護分野全体の水準を上げる存在にもなっています。また、認定看護師がいることで、医師の視点に加えて看護の視点からも治療・ケアを考えることができるため、患者様にとってより良い選択を提案することに

もつながっています。認定看護師の資格を得るには、看護師としての経験を積むとともに所定の教育・研修を経て、日本看護協会が定める認定看護師認定審査に合格する必要があります。また、認定を受けた後も、5年ごとに更新の審査を受けなくてはなりません。学びと実践を積み重ね続けるからこそ、患者様が求めるケアを提供することができるのです。

認定看護師への道

- 1 認定看護師教育機関を受験**
日本看護協会が認定した認定看護師の教育機関を受験し、合格する。
- 2 認定看護師教育機関修了**
共通項目105時間以上。学内演習および臨地実習200時間以上。総時間は615時間以上(各教育機関により異なる)
- 3 認定審査を受験**
日本看護協会の認定看護師認定審査に合格する。
- 4 5年ごとに更新**
看護実践と自己研鑽についての審査



当院在籍のスペシャリスト (認定看護師、特定看護師、専門看護師、専従管理者)

種別 (専門・認定・管理者 特定)	分野	氏名	
認定看護師	集中ケア	塩野 昌代	
	小児救急看護	井川 真美	
	皮膚・排泄ケア	塙 千晴	
	緩和ケア	浅野 亜佑美	
	救急看護		畠山 奈美
			菊池 成美
		万波 大悟	
	慢性呼吸器疾患看護	宮澤 良佑	
	感染管理	原 稔	
	認知症看護	山崎 愛梨	
	脳卒中リハビリテーション看護	弾 亜希子	
	透析看護	堀内 美里	
	慢性心不全看護	工藤 友紀子	
放射線看護	田中 まり		
感染管理者		後藤 佑介	
専門看護師	精神看護	金子 真理子	
特定看護師	7区分	川村 彩菜	
	3区分	金子 旭宏	
	1区分	石井 央	
	4区分	塩野 昌代	
	2区分	塙 千晴	
	2区分	岩淵 絢香	

※2020年9月時点



認定看護師は看護の実践・指導・相談を通して、看護分野全体の水準向上に努めています。

すべては、患者様ファースト 心と技術で寄り添う看護を目指して

当院で活躍する2名の認定看護師と、その成長と仕事ぶりを見守り、支える看護部長による鼎談を開催。看護のスペシャリストたちの声をお届けします。



認定看護師を志した理由は？

埴 私は外科病棟で担当していた人工肛門やがん性創傷、ろう孔ケアが必要な患者様の悩みを解決したくて資格を取りました。私が資格を取得した10年前、先輩方は人工肛門の患者様のケアに苦戦していました。そんな姿を見て、専門的に学べばより良い解決策を提案できるのではないかと考えるようになりました。現場で接した患者様の悩みを解決したくて、資格を取得しようと考え、私も多いのではないのでしょうか。

堀内 そうですね。私も透析治療を担当する中で、確かな知識を持って患者様やご家族をケアしたいという思いから資格取得を目指しました。透析治療は永続的な治療なので、患者様はもちろん、ご家族もたくさん不安や心配を抱えています。専門知識を持つ認定看護師という

立場から説明することで、より安心・納得して治療を受けていただけていると実感しています。

日高 当院の認定看護師・認定看護師の数は年々増えてきています。2022年には新たに研修を終えた診療看護師たちも職場復帰する予定です。多様なスペシャリストがそれぞれに専門性を発揮することで、患者様が抱えるより多くの問題が解決されていくことでしょう。

当院ではスペシャリストを目指す看護師が研修中も経済的に困ることのないよう、支援する体制を整えています。看護師の教育や、やりがい高め、これからも受講を希望する看護師を増やしていきたいと思えます。

看護のスペシャリストとは？

埴 認定看護師は現場での実践に加え、看護職への指導やコンサル

頼りにされるようになったことも大きな自信とやりがいにつながっています。

堀内 病気である自分を認めることは簡単なことではありません。お話を続けていく中で、患者様が病気に向き合っていくことができ、治療に対して前向きに考えられるようになったとき、私は大きなやりがいを感じます。

患者様へのメッセージ

きるように支援していきます。

埴 すべては、患者様ファーストですが、心だけでなく確かな根拠と技術を持って患者様に寄り添っていきたくです。そして、ご病気や治療へのお悩みや不安にもしっかりと耳を傾け、できることを真摯に、初心を忘れることなく歩み続けたいと思えます。

埴 社会の高齢化が進展しており、ゆくゆくは在宅看護にも注力できたらと思います。そのため資格取得も視野に入れていきたいです。
堀内 現在は糖尿病透析予防外来の専従として、主に糖尿病の患者様の生活指導にあたっています。透析治療に進まれる方を一人でも減らせるように尽くし、しっかりと実績を出すことで看護外来としての存在感も示していきたいです。

日高 今後も当院の医療提供体制に必要な専門分野の看護師を増やし、特定看護師・専門看護師たちが安心して活動できるように体制を整え、役割を存分に発揮で

日高 在宅医療を推進する中で、今まで入院中に関わった患者様が地域で安心して生活できるよう、訪問介護のフォローなどの連携も強化していきます。病院の患者様のケアに加えて、彼女たちスペシャリストには病院と地域をつなぐ存在として、さらなる活躍を期待しています。

看護師プロフィール



日高みえ子
【ひだか・みえこ】
副院長兼看護部長



埴 千晴
【はなわ・ちはる】
看護師長/
皮膚・排泄ケア専門看護師/
特定看護師（2区分）



堀内美里
【ほりうち・みさと】
透析看護認定看護師

テーションも行う存在です。私は話下手なので、とにかく現場に出て看護師の悩みを聞くようにしています。医師が不在であっても、特定看護師としての知識を生かして看護師からの相談に心えることもできるようになりました。

日高 さまざまな症例を対象とする当院では、看護実践の中で多くの困難や問題に直面します。そんなときも、スペシャリストたちの卓越

した実践能力やリーダーシップが頼れる軸となつて、各部署のスムーズな連携を促し、現場の問題を解決へと導いています。

堀内 私は専門知識を学んだことで、より医師の意図をくみ取れるようになり、多くの視点から治療方針の提案ができるようになりました。また、研修期間は自身の看護観を見つめ直すきっかけにもなり、自己満足な看護ではなく、患者様とご家族が第一という原点に立ち返って、より深くこの仕事に向き合えるようになりました。

やりがいについて

埴 やはり患者様が回復していく姿を見たり、ご本人やご家族から感謝されたときには大変うれしく思います。それに認定・特定看護師として専門知識や技術を身に付けたことで、医師をはじめ周囲からより

患者様へのお願い

当院では新型コロナウイルス感染症対策として、以下の内容を実施しています。ご不便とお手間をお掛けしますがご協力のほどよろしくお願いします。

- 正面入口、渡り廊下でのアルコール消毒と体温測定
- マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保
- 入院患者様への面会禁止
- 入院予定患者様に対する事前PCR検査
- 内視鏡検査等、所定の検査を予定している患者様に対する事前PCR検査

※2020年9月現在。感染状況の変化により内容が変更となる場合があります。



伝染性感染症病棟 (C.I.W) について

当院では新型コロナウイルス感染症患者の治療を独立病棟である伝染性感染症病棟 (C.I.W=Contagious Infection Ward) にて行っています。

旧第4駐車場の敷地にプレハブ造りで建設された本病棟の意義について、ご説明します。

1 新型コロナウイルスなどの感染力が高い病原体の存在しない「ホワイト・ホスピタル」を目指す

新型コロナウイルスが流行しているからといって、心臓病や癌は遠慮をしておく必要はありません。それらを放置した場合、新型コロナウイルスによって命を落とすよりも高い確率で、容態が悪化していく可能性があります。とはいえ「入院中の院内感染が怖い」とお考えの方もいらっしゃると思います。当院は感染症患者の療養をC.I.Wに集約することで、本館、別館での感染の可能性を限りなくゼロに近づけ、患者様が躊躇なく、生命に直結する疾患の治療をうけられる環境をご提供します。

2 症状の軽重に関わらず受入れ、容態が悪化した際は高度の治療も行える

新型コロナウイルス感染者は、無症状もしくは軽症であっても急激に悪化し、呼吸困難に陥ることが稀ではないと言われています。C.I.Wでは軽症の方の経過観察から人工呼吸器、ECMO(人工肺)等の高度な治療までを同じ施設で行えるため、生命を守るという観点から理想的であると考えます。

3 通常の診療を妨げず、医療崩壊を防ぐ

当院の救急車受入れ件数は千葉県一、全国でもトップ10に入ります。救急患者の受入れは当院の使命であり、新型コロナウイルス感染が疑われるからと言って発熱や肺炎の患者は受け入れないというわけにはいきません。一方で、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れて診療することで、通常の診療が妨げられ、地域の医療崩壊に繋がることも避けなければなりません。当院は感染症患者をC.I.Wで診療し、本館、別館のベッドは通常診療用に確保します。それにより新型コロナウイルス対応と通常診療を両立し医療崩壊を防ぎます。

当院は今後も医療を通じた社会貢献を徹底して参ります。

C.I.Wの仕様

一般病床 20床、HCU(高度治療室) 10床
高流量鼻カニューレ酸素装置、人工呼吸器、ECMO(体外式膜型人工肺装置)、人工透析対応、病棟専用CT



ちばにし 医心伝心

最善の医療を目指して日々奮闘する千葉西総合病院のエキスパートたち。高い志を胸に成長する後輩、それを支える先輩、そんな彼らの“医のこころ”をお伝えします。

目には見えないウイルスや細菌の脅威から 病院に関わる全ての人を守りたい

—2人の担当は？

原 私たち感染管理専従看護師は院内の感染管理を包括的に担当しています。ウイルス・細菌などの発生源や、その動向を日々モニタリングし、データとして集約しながら必要な対策を行っています。

後藤 ウイルスや細菌は人やものを媒介として移動するので、COVID-19やインフルエンザなどの流行性感染症だけでなく、手術をはじめとする医療行為や器具の感染に関するあらゆるデータを集めています。集めたデータを解析して問題があれば、感染の原因となった病原微生物の感染経路の遮断はもちろん、場合によっては医療行為や手技の見直しも含めた提案を行うこともあります。

—お互いの仕事ぶりについて

後藤 目には見えないものを相手にしている感染管理という仕事は、これをしてあげれば大丈夫というマニュアルが決まっているわけではありません。問題が起きてからの対策だけでなく、常にあらゆる可能性を視野に入れた事前の行動が求められ、そこで得た知見を次に生かしていくことが大切だと考えています。その

点で原さんは、指示されたことを正確に理解して行動するだけでなく自ら考え、最後まで責任を持って取り組んでくれるので大変心強い存在ですね。さらに経験を積んで判断力や決断力を伸ばし、当院を牽引するような感染管理のリーダーとなってくださることを期待しています。

原 後藤さんは、感染管理の専門知識の量や深さに加えて、院内の状況を隅々まで把握されていて、対策を講じるまでの判断や行動の早さなどは「すごい」の一言です。そのような先輩を模範に、少しでも早く近づけるよう日々の業務にやりがいと責任感を持って取り組んでいます。

—患者様に向けて

原 現在、コロナ禍で不安な思いをされている方も多くいらっしゃると思いますが、当院では私たちだけでなく、あらゆる部署のスタッフが一丸となり、でき得る限りの対策に日夜注力しています。

後藤 私たちは患者様と直接関わる機会ほとんどありませんが、安心して当院をご利用いただけるよう、これからも感染対策を徹底してまいります。

後輩

原 稔 (はら・みのる)

筑波大学 医学専門学群看護医療科学類卒



先輩

後藤 佑介 (ごとう・ゆうすけ)

順天堂大学大学院 医療看護学研究科 感染制御看護学分野卒



「やってみよう」
らくらく
エクササイズ

腰痛対策ストレッチ

股関節の硬さは腰の負担に繋がるため、腰痛の原因の1つになると考えられています。股関節の柔軟性を向上させて腰痛が起りにくい身体を目指しましょう!!

STEP 1 足を組みます。背筋は伸ばしましょう。



STEP 2 体を前に倒します。“股関節”を意識して!!



STEP 3 膝を上から押すことでストレッチ効果UP!!



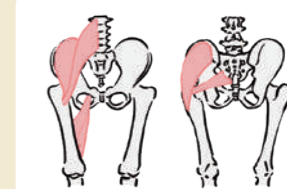
※反対側の脚も同様に行いましょう

伸ばすときは息を吐いて!!



理学療法士 山中 玄 高野 一志

できる範囲で無理せず行いましょう



股関節の周りには多くの筋肉があります。それぞれが伸びるイメージを持って行くとGood!!